

## 編集後記

ようやく秋らしくなり、スポーツやアウトドア活動に適したシーズンになりました。そんな中、2014年9月27日に木曾御嶽山が突然噴火し、多数の死傷者が出ました。たいへん痛ましい限りです。心よりお見舞い、お悔やみを申し上げます。ここ数年、研究室のメンバーに外部の友人を加えて夏山登山を楽しんでいるので、私自身、人ごとではないと感じています。自然の圧倒的な力を畏怖することが必要だと、あらためて思いました。

さて、今月の「物性研だより」は内容が盛り沢山で、かつ、読み応えのある記事が多くなっています。このところ物性研の若い研究者が活躍し、受賞やプレス発表が続いています。大学の基礎的な研究所も社会に対して **visible** であることが重要になってきました。本号では、それらに関係した解説記事がいくつかあるので、お楽しみください。物性コミュニティ向けの内容ですが、もう少し読み易くする工夫が必要かもしれません。

さらに新しい企画として、本号より URA の鈴木博之さんによるインタビュー記事が始まります。様々な物性研究者にインタビューを行い、研究動向や物性研への叱咤激励を語っていただくことになっておりますので、ご期待ください。トップバッターは青山学院大学の秋光純先生です。

「物性研だより」は、物性コミュニティと物性研とをつなぐ古典的なメディアですが（インターネット経由で電子媒体を読むこともできます）、新たな内容を含めることにより、コミュニティとの連携をより強く、さらに活性化したいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

（文責：吉信 淳）